

様 退院前カンファレンスシート

病院

病棟

年

月

日

司会: ケアマネジャー/MSW/退院調整NSなど適宜

☆自己紹介 2分(時間は目安です)

1. 現在までの経過と治療(病棟主治医または  
看護師が説明。事前記載不要) 3分

2. 入院中のADLとケア

(看護師が説明。事前記載不要) 5分

① 移動と移乗、入院中のリハビリテーション

② 食事の内容と食事介助の方法

③ 排泄

④ 寝具と体位交換、皮膚トラブルの有無

⑤ 入院中の入浴・保清の方法と頻度

⑥ 睡眠・更衣・口腔ケア・義歯の有無・その他

⑦ 認知機能・精神面

⑧ 退院後の主治医・継続医療

⑨ 行っている医療処置

必要な医療器具・福祉機器はあるか

また、使い方は習得できているか

自宅に帰ってから使用する消耗品などはあるか

⑩ 介護指導の内容と計画

介護方法・介助方法は習得できているか

主な介護者はだれか

⑪ 定時薬と頓用薬

現在使用している薬

3. 本人・家族の希望と心配 3分

4. 特別配慮する点(有・無)

5. 質疑 5分

6. 支援の方向性 5分

7. ケアの調整 5分

①退院日

退院後に利用する医療・介護の事業所は  
退院日を知っているか

②退院後の日程

③緊急連絡先や方法等

患者や家族は体調が変わった時の緊急  
連絡先を知っているか

退院時に必要な書類

8. まとめ 2分

## 富士市退院前カンファレンスシートの活用について

- ◇ このシートは、患者様が病院から退院して、スムーズな在宅療養生活をスタートさせることができるように、次の二つの視点から作成した多職種連携ツールです。
  - ①病院スタッフから在宅療養支援スタッフへ必要な情報が漏れなく提供される。
  - ②在宅療養支援スタッフが情報を共有することができる。
- ◇ 退院前カンファレンスでこのシートをご利用いただくと次のような効果が期待できます。
  - ①在宅療養支援スタッフは、在宅療養スタートにあたり、必要な情報を忘れずに病院から聴いてくることができる。(聴き忘れ、確認漏れが減る。)
  - ②多職種が、この同じシートをもっていると、カンファレンスがスムーズに進む。
  - ③病院スタッフは、在宅療養支援スタッフに伝える内容の準備ができる。
  - ④未経験スタッフも、このシート活用でカンファレンスをイメージできる。

## 病院スタッフのみなさまへ

- ◇ このカンファレンスシートは、在宅療養支援スタッフが知りたい情報をまとめたものです。**事前に記載する必要はありません。**このシートの記載項目に沿って、情報提供をしてください。
- ◇ また、カンファレンスができない場合には、記載項目のうち、**口印を付した項目（2-⑨⑩⑪、7-①③）**について、**確認**し情報提供していただくと助かります。

## 在宅医療と介護の連携スタッフのみなさまへ

- ◇ 退院前カンファレンスに参加される場合に、このカンファレンスシートをご活用ください。必ず使わなければならないシートではありません。活用は自由です。
- ◇ これは、みなさんが病院から入手する情報に漏れないようにするためのチェックシートです。記入したものが病院から配布されるわけではありません。

このカンファレンスシートが関係職種のみなさまの連携のために少しでもお役に立つことを願っています。ご意見がありましたら、下記までお寄せください。

企画・作成 富士市在宅医療と介護の連携体制推進会議

事務担当 富士市保健部高齢者支援課

〒417-8601 富士市永田町1丁目100番地

TEL 0545-55-2916 FAX 0545-55-2920

E-mail [ho-koureshien@div.city.fuji.shizuoka.jp](mailto:ho-koureshien@div.city.fuji.shizuoka.jp)

H28.11月作成